

タガネラン

Calanthe davidii Franch.
var. *bungoana* (Ohwi) Hashimoto

ラン科
Orchidaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 IA

選定理由	本県だけに生育する。生育地は極めて希。個体数も数えるほどで、僅少。右灰岩の採掘，人による採取で，絶滅の危険性が極めて高い。
県内分布	豊後水道域
分布域	九州(大分)
生育環境	石灰岩の丘陵地林縁や林内。
現 状	生育地の一部は鉱山用地で一般の人の立ち入れない所にある。今後の石灰岩採掘などにより，生育地の消滅，さらには絶滅することが考えられる。
備 考	本県の特産種とされる。基準標本産地 [津久見市上青江]。マツダエビネ (<i>C. matsudai</i>) と同種とする説もある。

エビネ

Calanthe discolor Lindl.

ラン科
Orchidaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由	かつては県内各地の林内に，多くの生育地がみられたが，植林や人による採取などで，野生状態で生育している所は少なくなり，絶滅の危険性が高くなっている。
県内分布	耶馬溪・国東丘陵地，英彦山・犬ヶ岳山地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，豊後水道後背地域，石灰岩地域，大野川上流域，祖母・傾山地
分布域	北海道(西南部)本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現 状	人里付近の生育地からほとんど姿を消し，人為の及ばない谷沿いなどで希にみかけることがある。
備 考	国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，瀬戸内海，耶馬日田英彦山，祖母傾]

ナツエビネ

Calanthe reflexa Maxim.

ラン科
Orchidaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由	県内の湿潤な溪流辺の林内に生育するが，個体数は極めて少ない。人による採取が著しく，絶滅の危険性が高くなっている。
県内分布	耶馬溪地区，英彦山・犬ヶ岳山地，津江山地
分布域	本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	丘陵地や低山地の湿った林内。
現 状	ほとんどの生育地は既に消滅したか，消滅の危機に瀕している。
備 考	国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，耶馬日田英彦山]